※令和４年度以降入学生用

学校番号	1016

令和５年度　公民科

教科	公民科	科目	(学)公民特殊講義	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球・世界・日本・大阪・地域のために自分には何ができるか？という高い意識をもち、よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に物事を捉えるようにしましょう。公民演習では、社会での様々な事象や課題を題材にして、「問題解決能力」「思考力・判断力・表現力」を身につける授業展開を行います。コミュニケーションを大切にして、社会で活躍することを目標に、１年間頑張っていきましょう。

2　学習の到達目標

・よりよい社会の実現を視野に、社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。
・選択・判断の手掛かりとなる情報を、適切かつ効果的にまとめる技能を身につける。
・地球市民の一員として、公正に判断する力を身につける。
・社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・他者に対して自分の考えを表現する際に、理解・納得を得る方法を知る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解することができる。	社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現することができる。	主体的に社会に参画し、他者と協働することに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、課題を追求したり解決したりする力を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	キャリア形成	自らの経験や体験などを振り返り、自己を理解する。	a:自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 b:自らの体験などを振り返り、他者、集団や社会との関わりにも着目して自己の課題を捉えて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:自らの体験などから、社会の形成に参画することに向けて、主体的に考察することができる。	ワークシート 資料作成 定期考査	ワークシート プレゼンテーション グループワーク ディベート 活動の様子を観察	ワークシート プレゼンテーション グループワーク ディベート 活動の様子を観察
二学期	貢献(国際・社会・地域・次世代)	国際貢献、社会貢献、地域貢献、次世代貢献について考える。	a:持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神について理解することができる。 b:現実社会の諸課題に関わる資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、問題解決に向けて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画することができる。	ワークシート 資料作成 定期考査	ワークシート プレゼンテーション グループワーク ディベート 活動の様子を観察	ワークシート プレゼンテーション グループワーク ディベート 活動の様子を観察

※令和４年度以降入学生用

三学期	職業選択	自己の役割、使命について考え、未来を創造する。	a:よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身につけている。 b:社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、未来に目を向け、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:集団や社会、生命や自然などとの関わりに着目して自己の課題を捉え、未来に目を向け、主体的に考察することができる。	ワークシート 資料作成 定期考査	ワークシート プレゼンテーション グループワーク ディベート 活動の様子を観察	ワークシート プレゼンテーション グループワーク ディベート 活動の様子を観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度